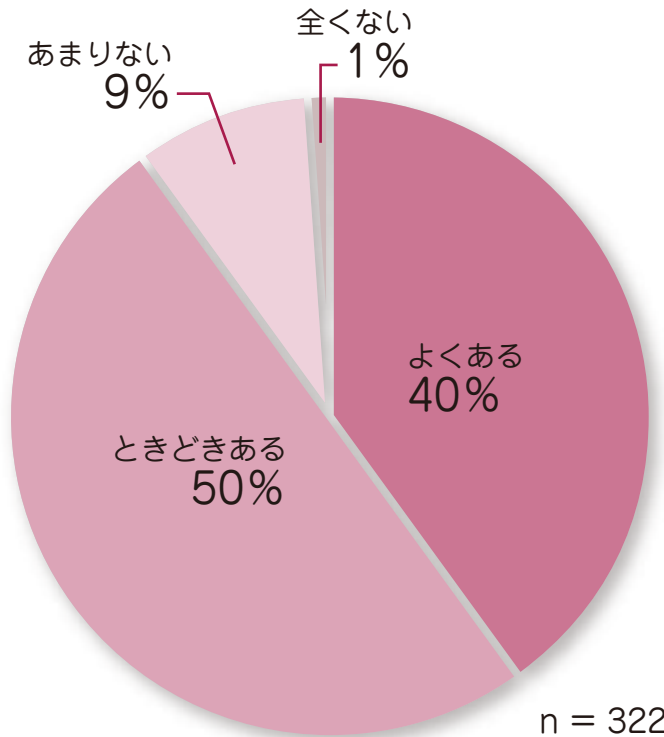


Q. 糖尿病で不便や不満、ストレスを感じることはありますか？

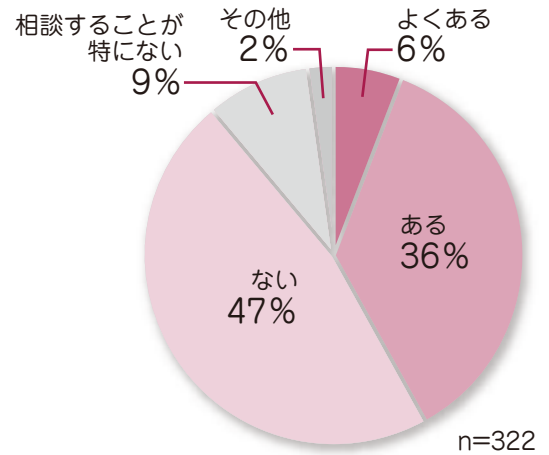


90%の糖尿病患者さんが「ある」と回答しました。“特に不便”の上位では、「インスリンや薬物療法の実施」、「食事療法」、「外食・お酒の付き合い」が約半数を占めました。“特に不満”の上位では、「医療費の負担」が78%と断トツで、「国や自治体の制度・対応」、「治療薬や治療法など」、「保険の加入」が続きました。具体的には、“不便”では、「飲食の制約が煩わしい」'外出先でのインスリン注射・血糖自己測定’、“不満”では、「医療費の負担が重すぎる’

‘薬剤や消耗品の処方量の制約’‘SMBGの保険がきかない’‘病気に対する社会の理解’といった声が大変多く見受けられました。しかし、このような“不便や不満”について、47%が医療スタッフに相談をしたことは「ない」との回答で、「とくに誰にも相談していない」方は44%でした。

自由記述では、「これだけ多くの糖尿病患者や予備群がいるのに、国の対策や支援が不足’一生、毎月通院して、高い医療費を支払い続けなくてはならない’必

Q. 通院する医療機関で、不便や不満について相談したことはありますか？



要な治療(ポンプ)が住んでいる地域で受けられない’‘偏見が多く、就職・転職が難しい’‘糖尿病外来や、糖尿病という名称を変えて’‘1型糖尿病は、難病として国が援助してほしい’‘糖尿病がどのような病気か知らない人が多すぎる’‘インスリンを打つ場所に困る’‘外食や市販の食品は糖尿病に配慮したものが少ない’など、深刻な“声”が多数寄せられました。

Q. 特に「不便」に感じることはどのような時ですか？

(上位3つを回答)

インスリンや薬物療法の実施	51%
食事療法	50%
外食・お酒の付き合い	47%
定期的な通院	40%
血糖値のチェック	33%
運動療法	22%
仕事・学校生活	18%
旅行	18%
人間関係	16%
健康診断・人間ドック	6%
その他	5%

Q. 特に「不満」に感じることはどのようなことですか？

(上位3つを回答)

医療費の負担	78%
国や自治体の制度・対応	39%
保険の加入	38%
治療薬や治療法など	38%
治療内容	16%
医療機関、主治医や医療スタッフ	16%
就職、就学	15%
その他	7%

●コメンテーター●

鈴木吉彦 (日本医科大学客員教授、HDCアトラスクリニック院長)

ミュージカル「アニー」の主題歌は「トゥモロー」。今日よりも明日は幸せ、と信じる歌です。糖尿病の治療も同じ。明日が幸せと感じる希望があるかどうか、です。医療費の問題は製薬企業に利益がでないと新薬開発もできてきません。その矛盾だと思います。しかし、インクレチンを初め、SGLT2阻害剤などが発売されれば、治る時代がきて、明日は今日よりも幸せと実感できれば、不満や不便は一掃されるでしょう。糖尿病が治るかも、HbA1cは5%台が普通、などと実感する日がくるまでは、もう少しの辛抱だと私は思っています。